

2025 年 5 月 29 日
九州旅客鉄道株式会社
株式会社 Sustech

JR 九州初！バーチャル PPA の導入により新幹線を実質再エネ化します！

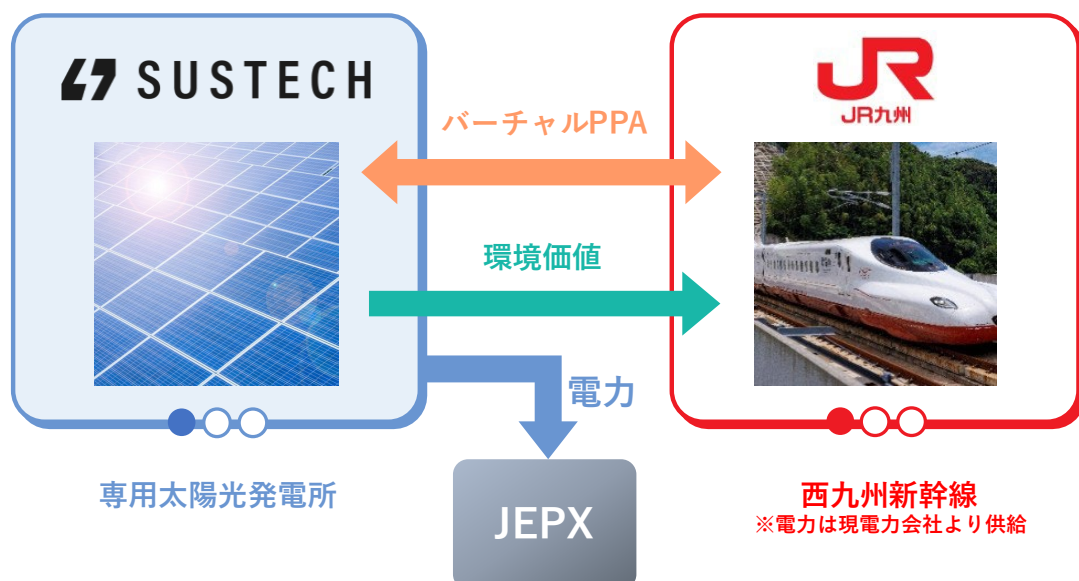
九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：古宮洋二 以下、JR 九州）、株式会社 Sustech（代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎／以下 Sustech）は、バーチャル PPA※を JR 九州で初めて活用し、西九州新幹線に使用する電力量に対応する再生可能エネルギーの環境価値を確保し、実質的に再生可能エネルギー由来の電気（以下、再エネ電気）とみなす取り組みを共同で行うことといたしました。

バーチャル PPA は、JR 九州の敷地外で建設した専用太陽光発電所で発電された再生可能エネルギーの環境価値のみを仮想（バーチャル）で調達することが可能な手段であり、直接再エネ電気を供給しないことから昼夜を問わず実質的に再エネ電気とすることができます。

本取り組みは、JR 九州グループ環境ビジョン 2050 に掲げる 2035 年度までの GHG 排出量 60%削減（2023 年度対比）、そしてカーボンニュートラルの実現に向けたものです。環境負荷の少ない鉄道輸送に Sustech のソリューションを組み合わせることでより環境に配慮した輸送を追求してまいります。

※PPA…「Power Purchase Agreement」の略で、需要家が発電事業者から長期にわたって自然エネルギーの電力を購入する契約。バーチャル PPA は、需要家が環境価値のみを購入することから仮想電力購入契約という。

- 1 供給期間 2026 年度～2046 年度（20 年間）[2026 年 6 月供給開始予定]
- 2 供給場所 JR 九州 西九州新幹線
- 3 導入規模 年間供給量 約 300 万 [kWh]
CO₂ 排出量削減効果 約 1,280 [t-CO₂] 一般家庭約 500 世帯分
- 4 本スキーム



5 各社の概要

商 号	九州旅客鉄道株式会社
設 立	1987 年 4 月 1 日
代 表 者	代表取締役社長執行役員：古宮洋二
所 在 地	福岡市博多区博多駅前 3 丁目 25 番 21 号
事 業 内 容	旅客鉄道事業、旅館業及び飲食店業、不動産の管理業など
U R L	HP： https://www.jrkyushu.co.jp/ JR 九州グループ環境ビジョン 2050： https://www.jrkyushu.co.jp/company/esg/environment/pdf/Environmental_Vision.pdf
今 回 の 役 割	再エネ電気（環境価値）を調達する需要家
環境の取組み	2025 年 2 月に環境への取組みに関する長期ビジョン「JR 九州グループ環境ビジョン 2050」を策定しました。「地域・お客さま・事業パートナーと共創する、自然と共生した未来」をテーマとして掲げ、環境への対応を重要な課題の一つとし、2035 年 GHG 排出量の中間目標を 2023 年度比 60%削減するとしています。なお、2050 年長期 KPI として「GHG 排出量実質ゼロ」、「脱炭素化を進めるためのお客さまと多様な事業パートナーとの協働」、「地域と共に築く、気候変動の影響を最小限に抑えた災害に強い社会の実現」を設定し、これらの達成を通じて、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めています。

商 号	株式会社 Sustech
設 立	2021 年 6 月 16 日
代 表 者	代表取締役 丹野裕介 飯田祐一郎
所 在 地	東京都港区芝 3 丁目 1-14 芝公園阪神ビル 5 階
事 業 内 容	電力運用事業、脱炭素プラットフォーム事業、発電所投資事業、カーボンクレジット創出・取引事業等
U R L	HP： https://sustech-inc.co.jp/
今 回 の 役 割	再エネ電気（環境価値）を供給する発電事業者
環境の取組み	Sustech は、2021 年に創業し、「Design the New Era of Energy —エネルギーの新しい未来を描く。—」を経営ミッションに掲げ、革新的な分散型電力運用プラットフォーム「ELIC」や脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」など、カーボンニュートラル化を実現する包括的なソリューションを提供しています。Sustech は、テクノロジーを活用した、真にインパクトのあるグリーンビジネスの実現を目指します。

6 報道機関からのお問い合わせ先

九州旅客鉄道株式会社 広報部 Tel：092-474-2541
株式会社 Sustech 広報部 Tel：03-6722-6301

以上